

雪中山水図	島田 元旦	個人蔵	四季富士図	沖 探容	個人蔵
四季山水図屏風	沖 探容	当館蔵	吉野・龍田図	沖 一峨	"
象耕鳥耘・山水図	狩野伊川院栄信	"	三社図	沖 九臯	当館蔵
楼閣山水図	等 原	"	雨中渡月橋図	岸 連山	"
月夜訪隠図	片山 楊谷	"	因幡八景図画帖伝	沖 探容	"
富士秋景図	狩野探信守政	個人蔵			

## ■ 近代美術展示室 (374㎡)

### ●美術常設展示 夏休み企画「Go! Go! アート探検隊」

展示期間：平成19年7月10日（火）～8月26日（日）

#### 〈出品目録〉

《人をさがせ!》			遠雷習作	伊谷 賢蔵	当館蔵
洛中洛外図屏風	不 詳	当館蔵	《かくれた形をさがせ!》		
禁庭流觴詠遊図	亀井 琴嶺	"	花模様のドレス	香田 勝太	当館蔵
阿弥陀二十五菩薩来迎図	不 詳	"	卓上秋果	伊谷 賢蔵	"
《好みのファッションをさがせ!》			豪円山より大山を望む	"	"
黒衣婦人像	浜田 宣伴	当館蔵	ラオコーンのある静物	福留 章太	"
少女	笹鹿 彪	"	雨	笹鹿 彪	"
女辯護士	濱田 台兒	"	まりもと少女	"	"
少女座像(赤衣)	前田 寛治	"	二人のイタリアーナ	亀田 正一	"
青衣	綿貫 恵史	"	《色をさがせ!》		
T子像	川上 貞夫	"	失題	古賀 春江	当館蔵
浴衣の女	中井 金三	"	アントロポス	福留 章太	"
《セリフをさがせ!》			花容	濱田 台兒	"
洗濯する女	安岡 信義	当館蔵	赤煉瓦と車輪②	尾崎悌之助	"
棟梁の家族	前田 寛治	"			

### ●美術常設展示 「悠久の美 -屏風の世界-」

展示期間：平成19年10月2日（火）～10月24日（日）

#### 〈出品目録〉

二天図屏風	不 詳	当館蔵	三滝溪谷之図	林 益堂	当館蔵
十鶴図屏風	中住 道雲	"	蘭舞踏	杵島 隆	個人蔵
絲綢之路屏風	小早川秋聲	"	宇宙から来た小花たち	"	"
薫風屏風	"	"	花鳥図	島田 元旦	"
草花図小屏風	菅 楯彦	"	猿の図屏風	土方 稲嶺	"
山閑	井江 耕宗	"	蓮池舟遊図屏風	狩野 益信	当館蔵
短日(ざくろ)	八百谷冷泉	"	舟曳之図	沖 一峨	個人蔵
麒麟獅子	中島 菜刀	"	初雪	香田 勝太	当館蔵

## ■ エントランスロビー展示

野良の父と子	辻 晉堂	当館蔵	拾得	辻 晉堂	当館蔵
鶏と女	"	"	非化Q	"	個人蔵
坐像	"	"	ポーズ	長谷川塊記	当館蔵
母と子(親子像)	"	"	裸	早川巍一郎	"

## ■ 山陰海岸学習館展示室（208㎡）

### ◎パネル展示（16項目）

#### 〈わが国の自然公園〉

- わが国の自然公園の分布や山陰海岸国立公園を概説している。

#### 〈山陰海岸国立公園〉

- 山陰海岸国立公園の詳細を概説している。
- 山陰海岸国立公園を航空写真18枚と地質模型で分かりやすく解説している。

#### 〈山陰海岸の特徴〉

- 山陰海岸の特徴である海食地形とその地質について紹介している（写真4枚含む）。

#### 〈山陰海岸の地形・地質〉

- 山陰海岸の地形地質の詳細について概説している（写真7枚含む）。

#### 〈磯の観察会・シュノーケルで海中散歩〉

- 身近な海で行われている観察会やスノーケリング体験の様子を紹介している。
- 身近な海の生きものを写真7枚を使って紹介している。

#### 〈日本海の海流と魚類〉

- 日本海の特徴である暖流と寒流の流れを紹介している。
- 暖流系の魚類と寒流系の魚類のいくつかをイラストで紹介している。
- 日本海沿岸域で採集されるカニ類を中心に剥製標本を展示している。

#### 〈日本海と太平洋の深海生物〉

- 日本海の深い海で生息している生きものをイラストで紹介している。

#### 〈マツバガニ〉

- 鳥取県における水産重要種マツバガニ（ズワイガニ）について紹介している。
- 脱皮を繰り返して成長するマツバガニ（ズワイガニ）の成長段階別の剥製を展示している。
- その他、多数の貝類・カニ類の剥製標本を展示している。

#### 〈日本海沿岸の生物〉

- 日本海のごく浅い沿岸域に生息する海洋生物について紹介している。
- 日本海沿岸の貝殻標本を多数展示している。

#### 〈海そう〉

- 山陰海岸に分布する海そうをアクリル封入標本10個を含めて紹介している。

#### 〈鳥取県の漁業〉

- 鳥取県の漁業を沿岸漁業と沖合漁業に分けて紹介している。

#### 〈浦富海岸の道〉

- 浦富海岸の自然探索路を含む遊歩道について紹介している。

#### 〈山陰海岸の植物〉

- 山陰海岸の植生について写真16枚などを用いて紹介している。

#### 〈まつくいむし〉

- 山陰海岸に広く生育しているクロマツの「まつくいむし被害」について概説している（写真2枚）。

#### 〈山陰海岸の動物〉

- 山陰海岸の砂浜や岩石海岸に生息する代表的な生きものについて紹介している（イワツバメやイソコモリグモなど）（写真6枚）。

#### 〈山陰海岸と人々の歴史〉

- 山陰海岸における人と歴史の関係を、先史時代から近世にかけて順に紹介している。

#### 〈海藻おしば〉

- 普及事業として実施している海藻おしばのカラーコピー60点を壁掛け展示している。

### ◎映像（スライドを含む）展示（3項目）

#### 〈日本海の生いたち〉

- 日本列島の形成とともに生まれた日本海の姿や形成過程を、岩石や鉱物のジオラマとスライドショー（現在調整中）で紹介している。

#### 〈海の科学〉

- 海水の塩分濃度のことから海水の利用に至るまで様々な海の事柄をオートスライドで紹介している。

#### 〈遠い海〉

- 身近であるが神秘的な海の事について、現在地球規模で抱えている問題も含めて紹介している。

### ◎その他の展示

#### 〈岩石標本〉

- 流紋岩・黒雲母花崗岩・礫岩・黒鉱の標本を展示している。

#### 〈化石標本〉

- 鮪川層と大桑層の貝類化石を展示している。
- サンゴ・ナウマンゾウの臼歯・ヒゲクジラの耳石・クジラの腰椎の化石を展示している。

## (2) 企 画 展

### ●現代の表現 鳥取 vol.4 「中ハシクシゲ展 ZEROs -連鎖する記憶-」

会 期 平成19年4月28日（土）～5月27日（日）30日間（休館日なし）

入館者数 1,748人

会 場 鳥取県立博物館 第1・第2・第3特別展示室

主 催 鳥取県立博物館 朝日新聞社

入 館 料 一般 600円（前売り・団体 400円）

内 容 1955年、高松に生まれ、米子で中学と高校を過ごした現代美術作家、中ハシクシゲの個展を開催した。この展覧会では中ハシが近年、世界各地で発表を続けている二つのプロジェクトを紹介する。一つは特定のエピソードをもつ航空機、多く零戦を選び、プラモデルを接写した25000枚にもものぼる写真を貼り合わせて実物大の張りぼて状の戦闘機を制作する「ゼロ・プロジェクト」であり、鳥取では美保基地から飛び立った「最後の特攻機」、《彗星》が多くのボランティアの手によ

て制作された。もう一つは歴史的な事件が起きた同じ日付に関連した場所の地表を日の出から日没まで撮影し、やはり張り合わせて展示する「オン・ザ・デイ・プロジェクト」である。

鳥取では熱心なボランティアの協力もあって、プレ・イベントとして戦艦ミズーリの甲板を撮影した新作も制作した。会期中に完成した《彗星》については会期最終日、ボランティアとともにゆかりの場所である自衛隊美保基地に移送し、作品を焼却するバーニングを実施した。

#### 〈関連事業〉

(1) アーティスト・トーク

期 日 4月28日(土) 14:00～  
会 場 講堂  
講 師 中ハシクシゲ氏  
参加人数 38名

(2) トーク・セッション

期 日 5月12日(土) 14:00～  
会 場 講堂  
講 師 松井みどり氏(美術評論家)、中ハシクシゲ氏、尾崎信一郎(当館美術振興課長)  
参加人数 64人

(3) 《ZERO Project SUISEI-43/Tottori》バーニング

期 日 5月27日(日) 16:30～  
会 場 航空自衛隊美保基地  
参加人数 63人

#### 〈出品目録〉

1. ZERO Project SUISEI-43/Tottori 2007  
写真、セロテープ、布テープ、エアバッグ
2. ZERO Project #BII-124/Darwin, Cowra 2000-02 (2006再制作)  
写真、セロテープ、布テープ、エアバッグ 1,380×995×95cm
3. ZERO Project #601-1XX/Kyoto-Lake Biwa 2003  
写真、セロテープ、布テープ、ジュラルミン製米櫃 サイズ可変
4. On the Day Project 19th February/Okinawa 1999  
写真、両面テープ、布テープ 268×1,104cm
5. On the Day Project 5th August/Cowra 2002 (2006 再制作)  
写真、両面テープ、布テープ 400×800cm
6. On the Day Project 1st March/Runit Dome 2004 (2006 再制作)  
写真、両面テープ、布テープ 268×1,104cm

7. 最も記憶に残る一日 2006/07 音声による構成 サイズ可変

8. On the Day Project 7th December/Battleship Missouri, Pearl Harbor 2006

写真、両面テープ、布テープ 400×800cm

### ●「石谷コレクション展」

会 期 平成19年6月2日(土)～7月1日(日)30日間(休館日なし)

入館者数 2,696人

会 場 鳥取県立博物館 第3特別展示室

主 催 鳥取県立博物館

入 館 料 300円(団体200円)

内 容 平成17年度に、八頭郡智頭町の石谷正樹氏より絵画作品71件と書作品87件、陶磁器資料219件を御寄贈いただいたことを記念し、石谷コレクションの選りすぐりの名品を紹介した。その結果、多くの人に石谷コレクションの内容を知っていただくことができた。

### 〈関連行事〉

(1) 担当学芸員によるギャラリートーク

期 日 6月2日(土)14:00～

会 場 第3特別展示室

参加人数 33名

(2) 学芸員講座

期 日 6月9日(土)14:00～

会 場 講堂

講 師 山下真由美(当館学芸員)

参加人数 58名

### 〈出品目録〉

	作品名	作者名	点数	所蔵
1	如意輪観音像	不 詳	一幅	当館蔵
2	叫鳥図	祖 栄	一幅	〃
3	柿本人麻呂・山部赤人図	狩野 松栄	二幅	〃
4	中富獄左右牡丹図	狩野 益信	三幅	〃
5	山水漁舟図襖	狩野 尚信	四面	〃
6	朱竹図	孫 杖	一幅	〃
7	雪梅双鳥図	不 詳	一幅	〃
8	囲碁図屏風	曾我 蕭白	二曲一隻	〃
9	月夜山水図襖	曾我 蕭白	四面	〃
10	群鯉図	小畑 稻升	一幅	〃
11	猩々図	根本 幽峨	二幅	〃
12	風竹図屏風	与謝 蕪村	六曲一双	〃
13	瀑布山水図	高 芙蓉	一幅	〃
14	木幡閨図	張 紅蘭画、梁川星巖賛	一幅	〃
15	双鹿図	三浦 栲良	一幅	〃
16	書状	春屋 妙葩	一幅	〃
17	墨跡	古岳 宗巨	一幅	〃

	作品名	作者名	点数	所蔵
18	書状	天 海	一幅	当館蔵
19	書状	古田 織部	一幅	"
20	書状	小堀 遠州	一幅	"
21	墨跡	三井 親和	一幅	"
22	「南門月下聞宮中笛声」七絶	柴野 栗山	一幅	"
23	梅花 七絶	徳川 斉昭	一幅	"
24	墨跡扁額	池田 慶徳	一面	"
25	「白髮蒼顔詩」七絶	藤田 東湖	一幅	"
26	御本三島茶碗 銘智水	不 詳	一点	"
27	象筭青磁雲鶴文鉢	不 詳	一点	"
28	青磁陰刻鉢	不 詳	一点	"
29	絵唐津茶碗	不 詳	一点	"
30	瀬戸茄子茶入	不 詳	一点	"
31	黒塗 棗	如心 斎宗左	一点	"
32	瀬戸肩衝茶入 銘〈夕かせ〉	正 意	一点	"
33	鶉班紋 茶入	諏訪 蘇山 (初代)	一点	"
34	水指 銘〈軒の玉水〉	清水六兵衛 (初代)	一点	"
35	染付香合	永楽 保全	一点	"
36	雀 香合	仁阿弥 道八	一点	"
37	五彩四方香合	諏訪 蘇山 (初代)	一点	"
38	青白磁合子	不 詳	二点	"
39	青磁合子	不 詳	一点	"
40	青磁三猿香合	諏訪 蘇山 (初代)	一点	"
41	赤楽鶴香合	楽 九代了入	一点	個人蔵
42	時代蒔絵香合	不 詳	一点	当館蔵
43	エボシ筥香合	飛来 一閑 (十一代)	一点	"
44	古釘蒔絵香合	柴田 是真	一点	"
45	鏝鈿浜松に千鳥香合	不 詳	一点	"
46	黒楽茶碗 銘三輪	楽 初代長次郎	一点	個人蔵
47	獅子香炉	楽 二代常慶	一点	"
48	檢校写赤楽茶碗	楽 六代左入	一点	"
49	赤楽茶碗	楽 七代長入	一点	"
50	赤楽茶碗	楽 八代得入	一点	"
51	塩筥形黒楽茶碗	楽 八代得入	一点	"
52	黒楽茶碗	楽 十代旦入	一点	"
53	赤楽茶碗	楽 十二代弘入	一点	"
54	赤楽筒茶碗	楽 十三代惺入	一点	"
55	農家風俗画 手塩皿	清水六兵衛 (四代)	十点	当館蔵
56	遠山画 向附	清水六兵衛 (四代)	十点	"
57	花舟 向付	清水六兵衛 (四代)	十二点	"
58	織部 鉢	不 詳	一点	"
59	乾山模笹画 鉢	仁阿弥 道八	一点	"
60	瓢形 鉢	仁阿弥 道八	一点	"
61	赤絵魁文字 鉢	永楽 保全	一点	"
62	堆朱香盆	不 詳	一点	"
63	鏝絵柳図角皿	乾 山 銘	一点	"
64	鏝絵馬図角皿	乾 山 銘	一点	"
65	赤壁賦 蓋鉢	仁阿弥 道八	一点	"
66	赤 茶碗	清水六兵衛 (四代)	一点	"
67	大禮磁龍膽紋 鉢	清水六兵衛 (五代)	一点	"
68	五彩磁馬彫紋 茶瓶	高橋道八 (五代)	一点	"
69	黄磁 鉢	三浦 竹泉 (初代)	一点	"
70	傲天藍窯 盃	三浦 竹泉 (初代)	一点	"
71	礬紅戯金蔦紋 壺	三浦 竹泉 (初代)	十点	"
72	飛青磁 花瓶	諏訪 蘇山 (初代)	一点	"
73	青磁駅鈴掛花入	諏訪 蘇山 (初代)	一点	"
74	秘色磁菓子鉢	清風 与平 (三代)	一点	"
75	青磁鳳凰耳付帖花入	真清水 蔵六 (二代)	一点	"
76	仁清写氷梅菓子鉢	真葛 香山	一点	"
77	青磁魚耳付花入	不 詳	一点	"
78	因久山焼茶碗	芹澤 五兵衛	一点	"
79	青銅牧童床置	秦 蔵六	一点	"
80	古銅向獅子香炉	不 詳	一点	"

●「挑戦者たち ー動物の適応進化と性淘汰ー」

会 期 平成19年7月14日（土）～8月26日（日） 44日間（休館日なし）

入館者数 12,761人

会 場 鳥取県立博物館 第1・第2特別展示室

主 催 鳥取県立博物館

特別協賛 コカ・コーラウエストジャパン株式会社

入 館 料 一般800円（前売り・団体600円）

内 容 多様な動物たちの姿かたちや行動生態をとおして、環境への適応や性によって異なる進化のしくみについて紹介した。あわせて、鳥取砂丘の動植物についてのシンポジウムおよび展示を行い、砂丘の自然の知られざる姿を紹介するとともに、砂丘の保全のあり方についても考える機会を提供した。またタッチング標本や顕微鏡観察標本などの体験型展示を多く設置し、楽しく学べる展覧会とした。

展 示

1 極限環境への挑戦：寒さ・乾燥・暗黒の中で生きる動物たち

資料点数約40点（シベリアトラ、ホッキョクグマ、ユキドリ、フタコブラクダ、マヌルネコ、クロオビトカゲギス、メコンオオフトミミズ、ハダカデバネズミ、イソコモリグモなど）

2 新天地への挑戦：陸へ、空へ、海へ

資料点数約90点（ユーステノプテロン、エリオプス、アーケオプテリクス、ロイヤルアホウドリ、キクガシラコウモリ、マレーヒヨケザル、ジャイアントモア、オオマダラキーウィ、イワトビペンギン、ゴマフアザラシ、カマイルカ、ジュゴンなど）

3 生きるための挑戦：競争がもたらす進化

資料点数約20点（オオアリクイ、オカダンゴムシ、エリマキトカゲなど）

4 オスの挑戦・メスの挑戦：なぜ、オスには「よけいなモノ」がついているのか

資料点数約30点（アフリカライオン、ワピチ、インドクジャク、オオフウチョウなど）

〈関連行事〉

(1) 企画展シンポジウム

「砂丘に挑戦した生きものたち ー知られざる鳥取砂丘の生命ー」

期 日 7月15日（日）14：00～16：00

会 場 講堂

パネリスト 鶴崎展巨氏（鳥取大学）、永松 大氏（鳥取大学）、一澤 圭（当館学芸員）

進 行 川上 靖（当館学芸員）

参加人数 46人

(2) 学芸員講座

・「小さな挑戦者たち ー木にのぼる土壌動物ー」

期 日 7月22日（日）14：00～15：30

会 場 講堂  
講 師 一澤 圭 (当館学芸員)  
参加人数 18人

・「鳴く虫の聞き分けに挑戦！」

期 日 8月5日(日) 14:00~15:30

会 場 講堂  
講 師 川上 靖 (当館学芸員)  
参加人数 41人

・「ライバルを払い落とす ―イカしたオスの精子競争―」

期 日 8月26日(日) 14:00~15:30

会 場 講堂  
講 師 和田年史 (山陰海岸学習館学芸員)  
参加人数 34人

(3) 体験コーナー

「ダーウィンに挑戦！」(会期中常時、企画展会場内)

「動物おりがみに挑戦！」(会期中常時、企画展会場内)

「ホッキョクグマ・シベリアトラ タッチングタイム」

期 日 8月18日(土)、19日(日)、25日(土)、26日(日) 14:00~15:30

会 場 エントランスホールおよび第1特別展示室

●交流展「万里の長城写真展―河北省の長城と歴史―」

会 期 平成19年10月3日(水)~10月24日(水) 22日間(休館日なし)

入館者数 2,416人

会 場 鳥取県立博物館 第1特別展示室

主 催 鳥取県立博物館

入館料 一般 180円(団体150円)

内 容 中国河北省博物館と鳥取県立博物館の友好交流館協定締結10年目を記念して河北省内の「万里の長城」を紹介する展覧会を開催した。河北省博物館提供の写真96点、鳥取県立博物館所蔵の漢籍7点を展示し、「万里の長城」とその歴史を解説した。併せて、河北省と河北省博物館の紹介のため、河北省内の名勝・史跡写真9点、河北省博物館の展示風景写真14点も展示した。多くの方が来場し好評を博し、中国の歴史や文化に対する県民の興味・関心を深めた。

そ の 他 県内2会場で巡回展を開催し、県民に中国の歴史や文化に接する機会を提供することができた。

〈会場別観覧者数〉

燕趙園 (平成19年11月1日(木)~12月3日(月)) 15,397人

夢みなとタワー (平成20年1月16日(火)~29日(火)) 2,859人